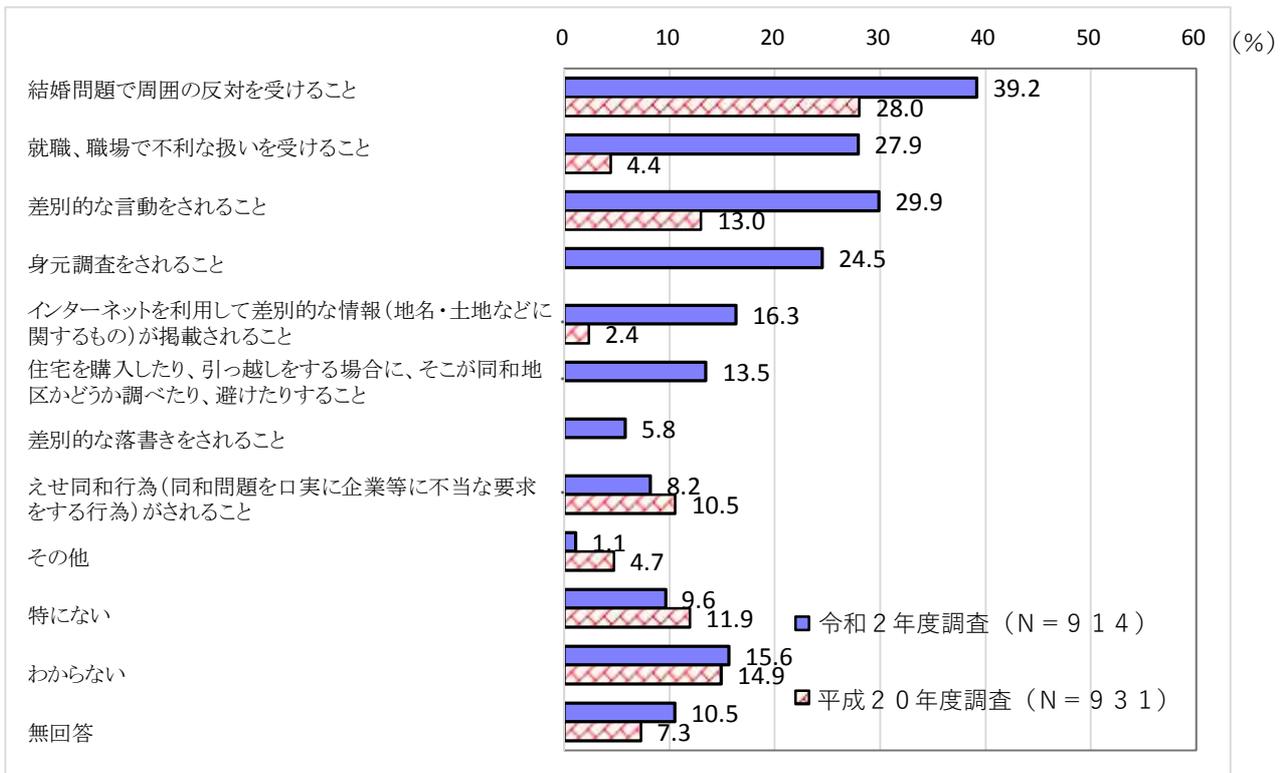


(11) 同和問題に関する人権上の問題点と見聞

(ア) 同和問題に関する人権上の問題点

問15 あなたは、同和問題に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。
(✓は3つまで)

図15-1-1 同和問題に関する人権上の問題点 (経年比較)

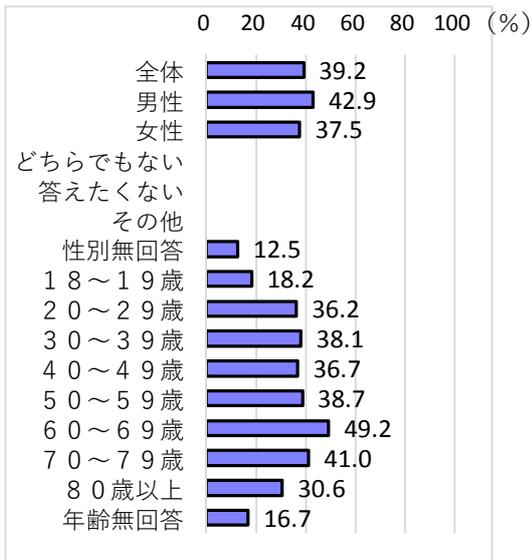


同和問題に関する人権問題を尋ねたところ、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と答えた人が39.2%で最も高く、次いで、「差別的な言動をされること」(29.9%)、「就職、職場で不利な扱いを受けること」(27.9%)、「身元調査をされること」(24.5%)、「インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること」(16.3%)、「住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること」(13.5%)と続いている。

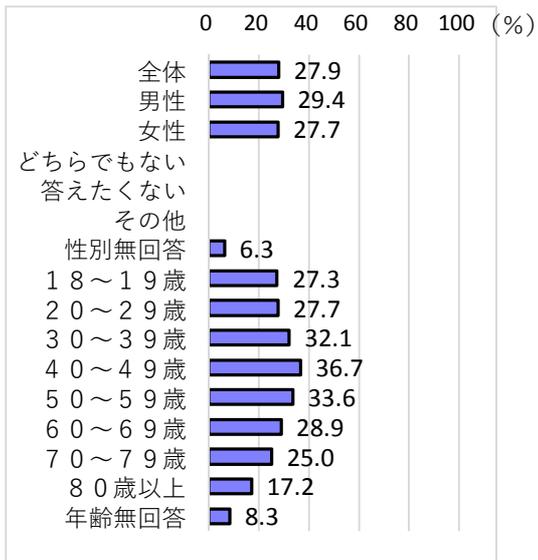
平成20年度調査結果と比較すると、「就職、職場で不利な扱いを受けること」は23.5ポイント高く、次いで、「差別的な言動をされること」が16.9ポイントと高くなっている。また、「えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること」は2.3ポイント低くなっている。

図15-1-2 同和問題に関する人権上の問題点（性・年齢別）

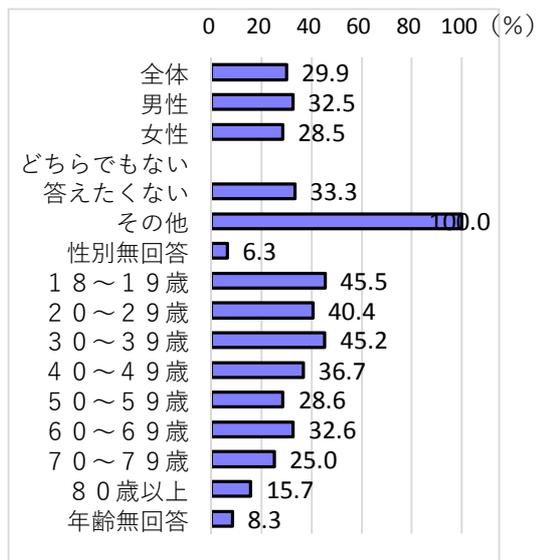
結婚問題で周囲の反対を受けること



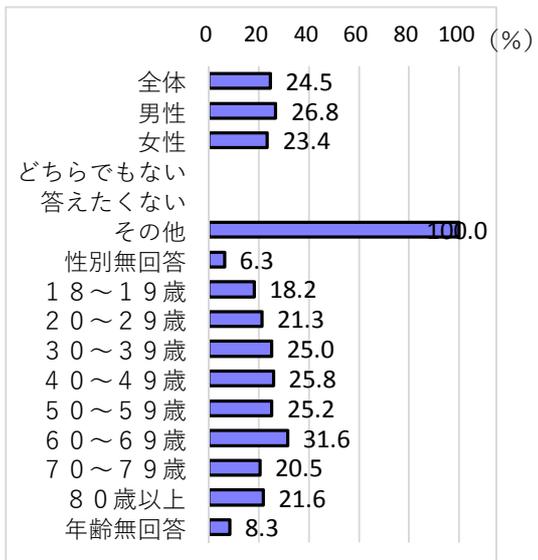
就職、職場で不利な扱いを受けること



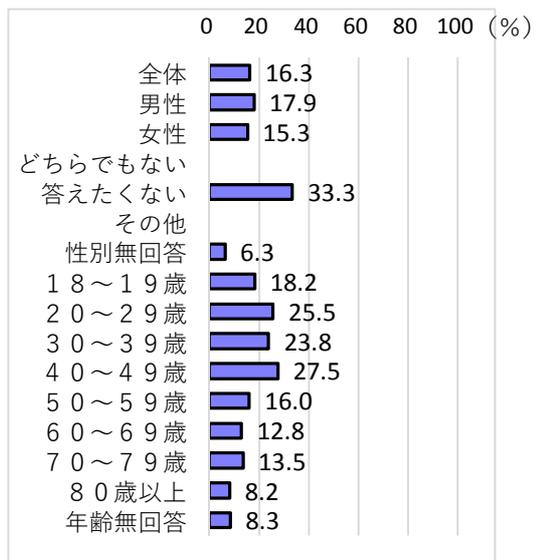
差別的な言動をされること



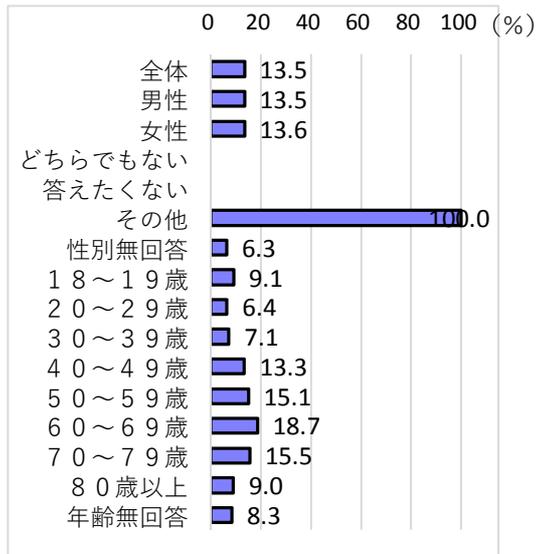
身元調査をされること



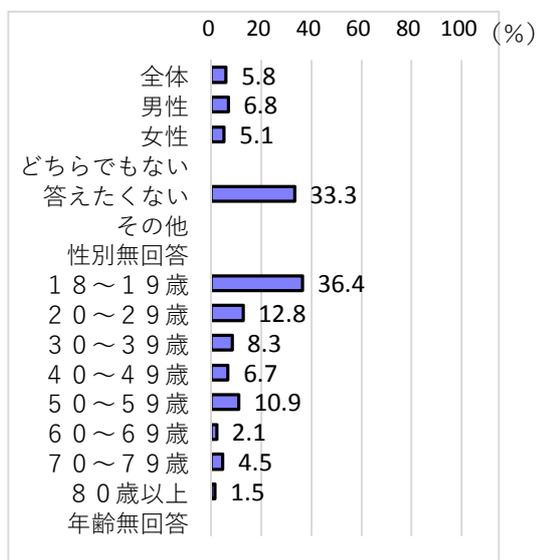
インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること



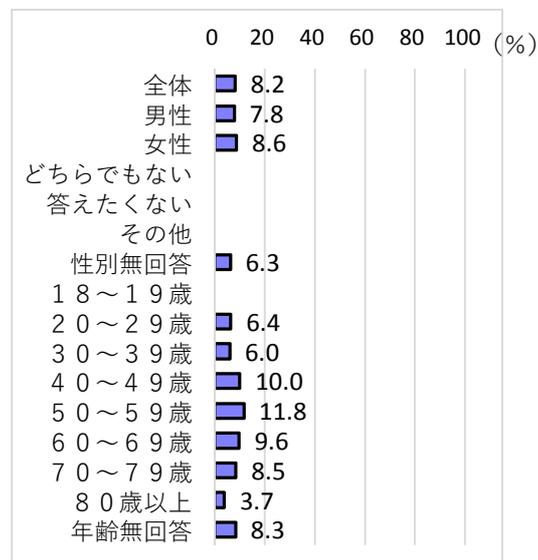
住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること



差別的な落書きをされること



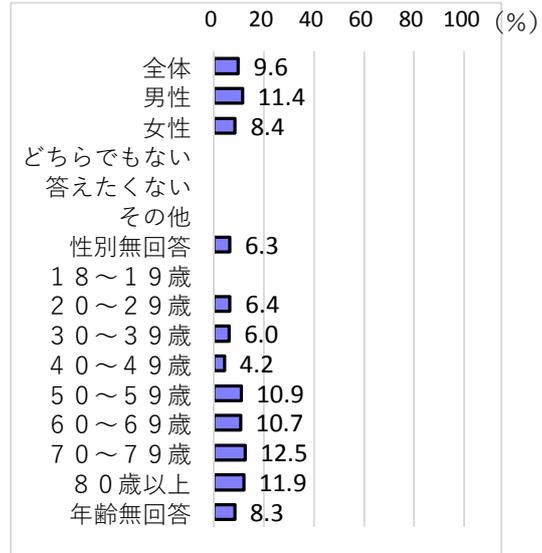
えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること



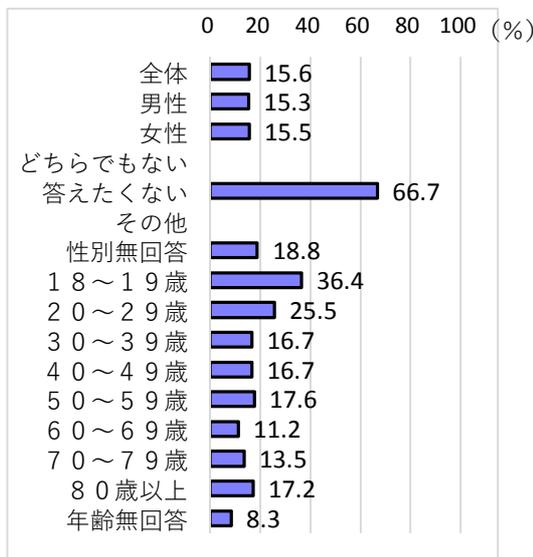
その他



特にない



わからない



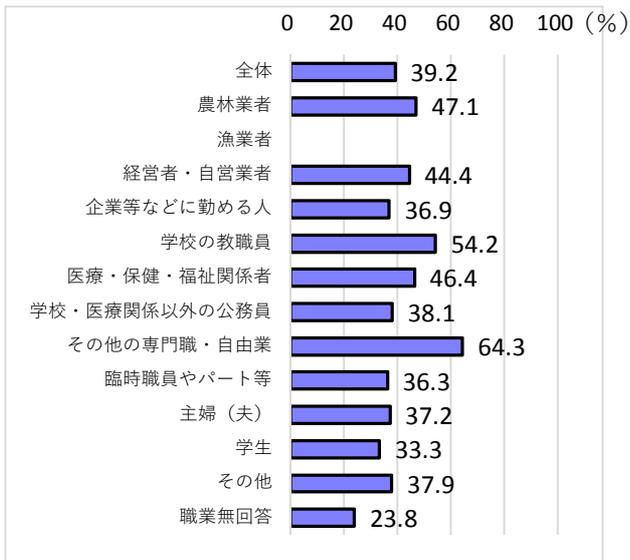
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

同和問題に関する人権上の問題点について性別にみると、男女ともに「結婚問題で周囲の反対を受けること」の回答割合が最も高くなっている。また、男性は女性に比べ「結婚問題で周囲の反対を受けること」(5.4ポイント差)の回答割合が高く、女性は男性に比べ「えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること」(0.8ポイント差)の回答割合が高くなっている。

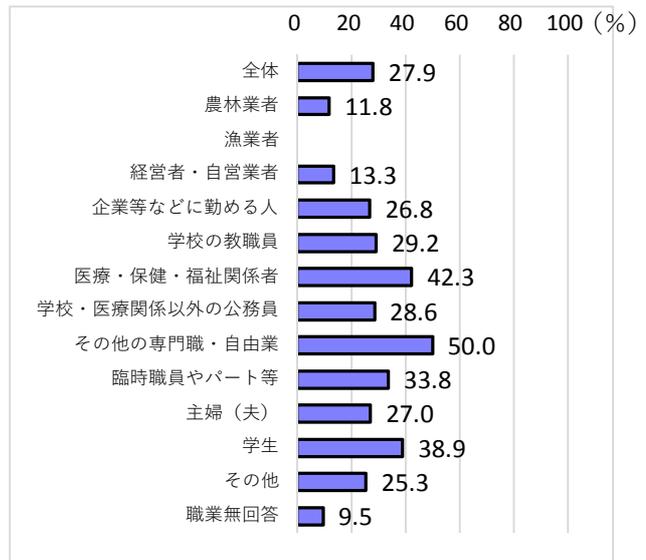
年齢別にみると、50歳以上では「結婚問題で周囲の反対を受けること」の回答割合が最も高く、39歳以下では「差別的な言動をされること」の回答割合が最も高くなっている。また、40歳～49歳では「結婚問題で周囲の反対を受けること」(36.7%)、「就職、職場で不利な扱いを受けること」(36.7%)、「差別的な言動をされること」(36.7%)の回答割合が高くなっている。

図15-1-3 同和問題に関する人権上の問題点（職業別）

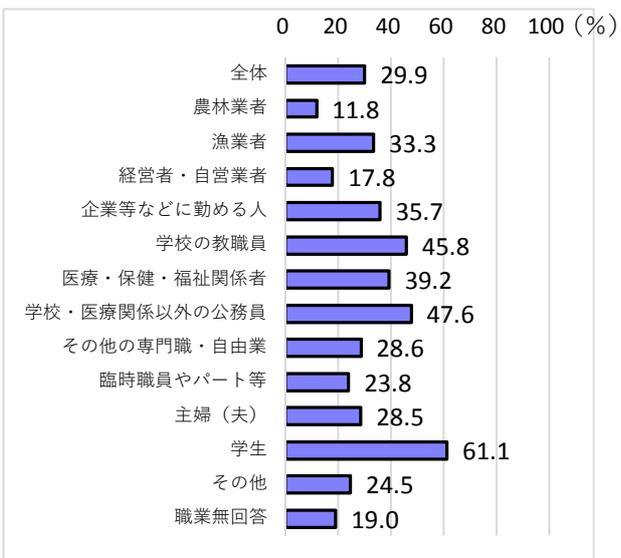
結婚問題で周囲の反対を受けること



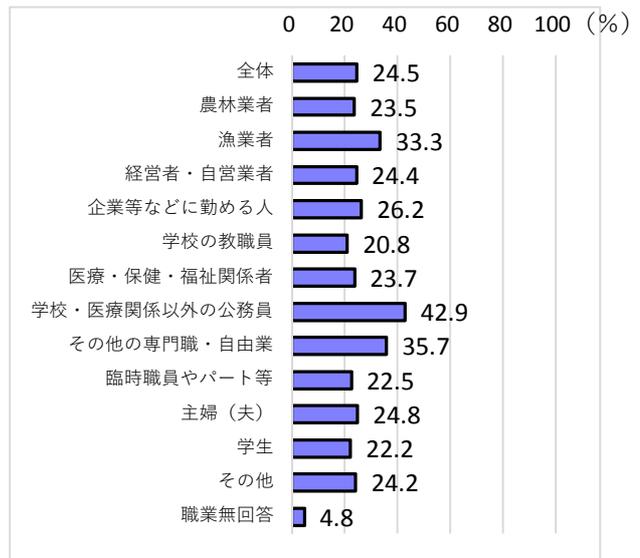
就職、職場で不利な扱いを受けること



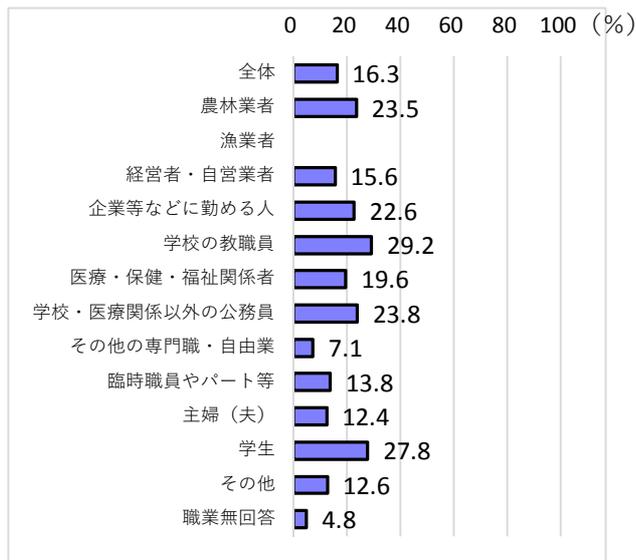
差別的な言動をされること



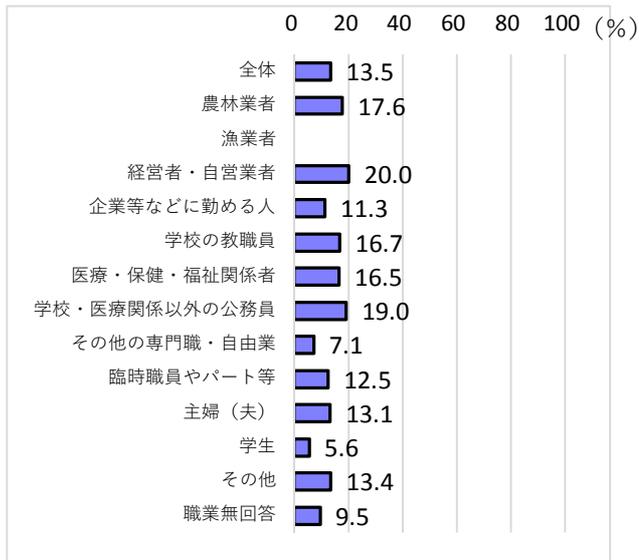
身元調査をされること



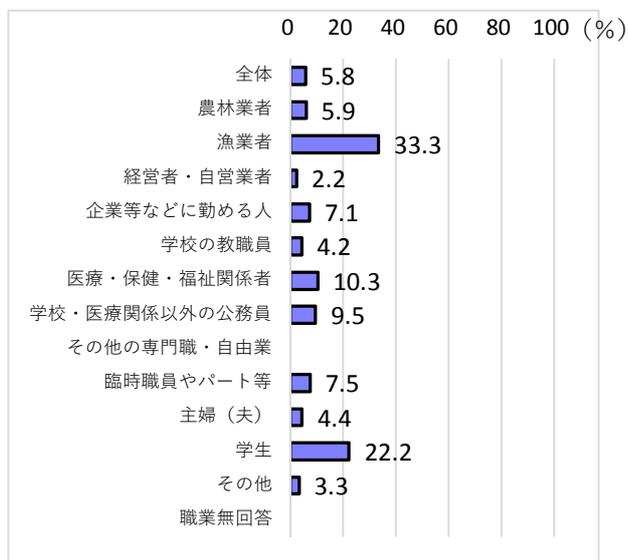
インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること



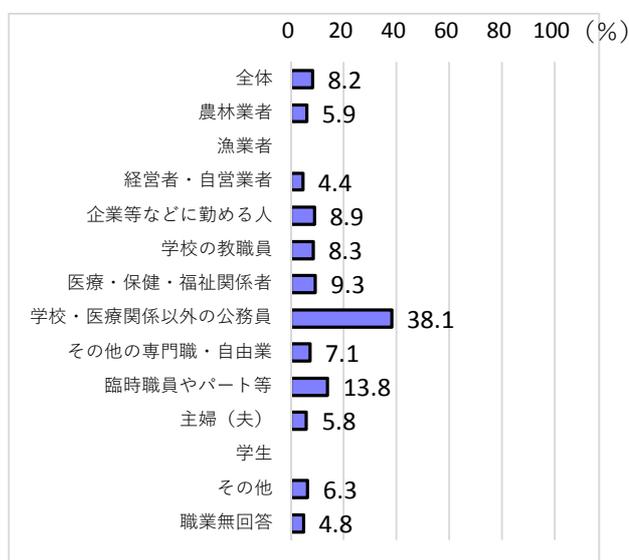
住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること



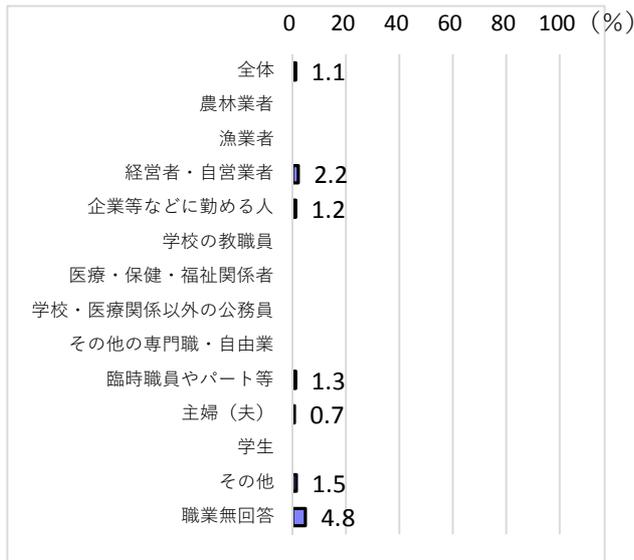
差別的な落書きをされること



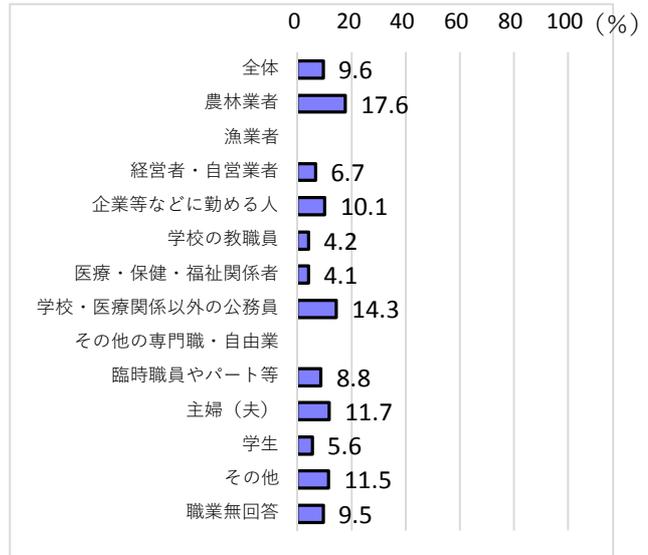
えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること



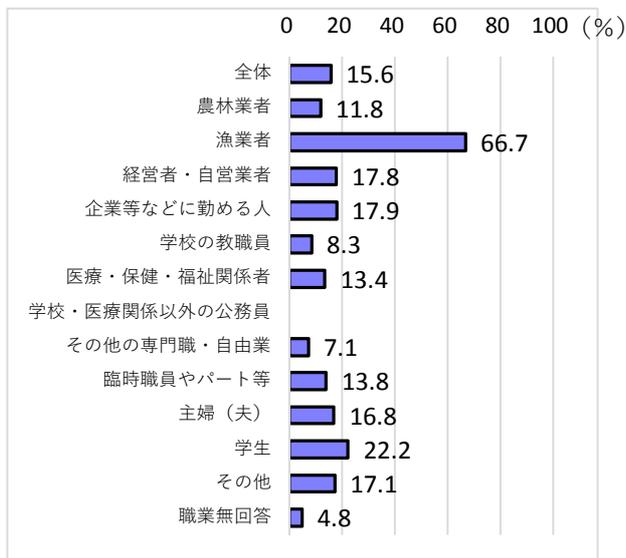
その他



特にない



わからない



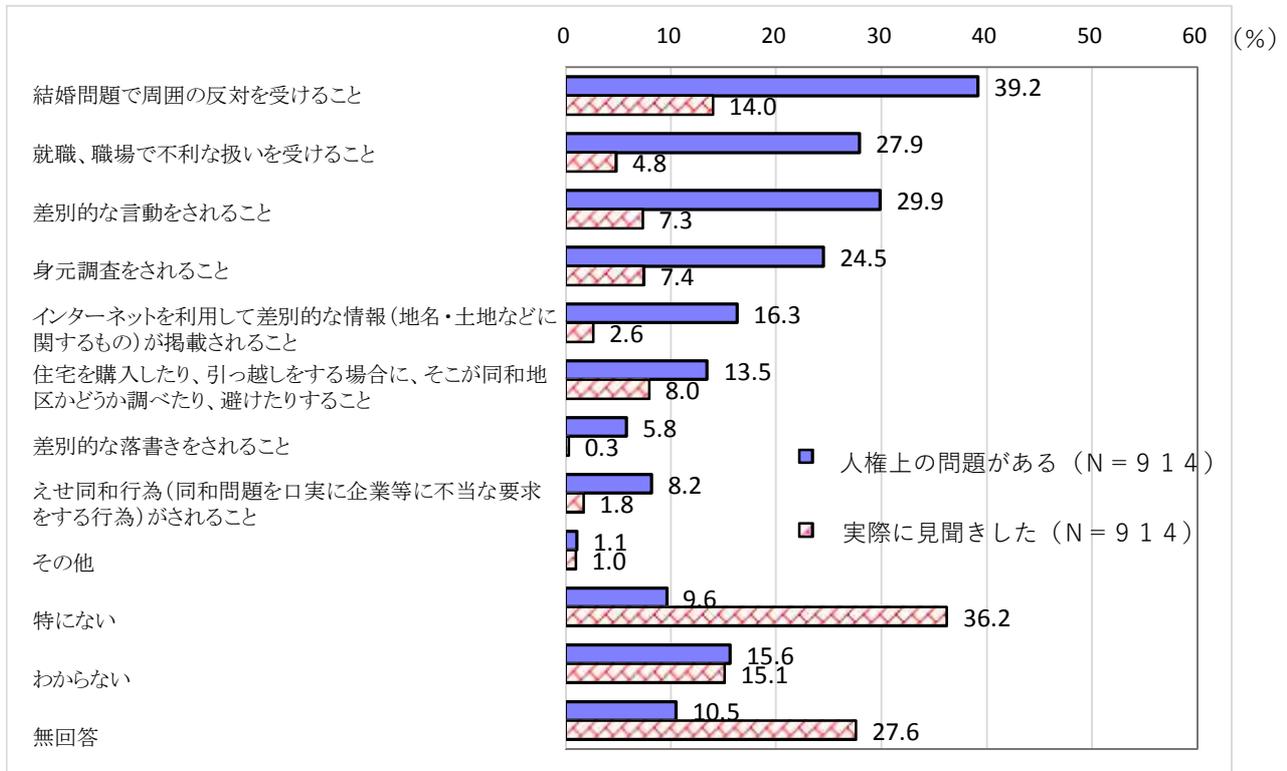
全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

同和問題に関する人権上の問題点について職業別にみると、大半の職業において「結婚問題で周囲の反対を受けること」の回答割合が最も高くなっており、その他の専門職・自由業では64.3%となっている。また、学校・医療関係以外の公務員、学生では「差別的な言動をされること」の回答割合が最も高くなっている。

(イ) 同和問題に関する人権問題を見聞きした経験

問15 また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は3つまで)

図15-2-1 同和問題に関する人権問題を見聞きした経験 (問題点・見聞比較)

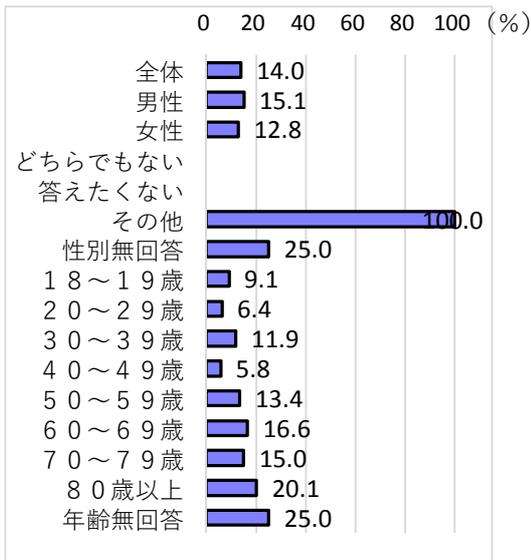


同和問題に関する人権問題について「見聞きした経験」をみると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」と答えた人が14.0%、次いで、「住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること」(8.0%)、「身元調査をされること」(7.4%)、「差別的な言動をされること」(7.3%)、「就職、職場で不利な扱いを受けること」(4.8%)、「インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること」(2.6%)と続いている。

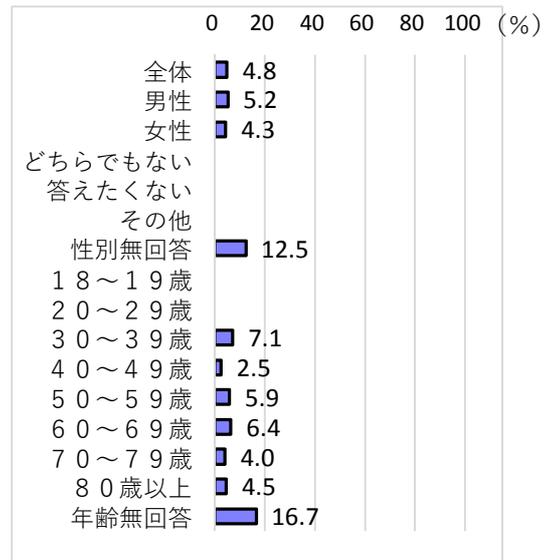
また、同和問題に関する人権問題について「見聞きした経験」と「問題点」を比較すると、具体的な事象を表す選択肢の回答割合については、すべて「見聞きした経験」が、「問題点」の回答割合を下回っている。

図15-2-2 同和問題に関する人権問題を見聞きした経験（性・年齢別）

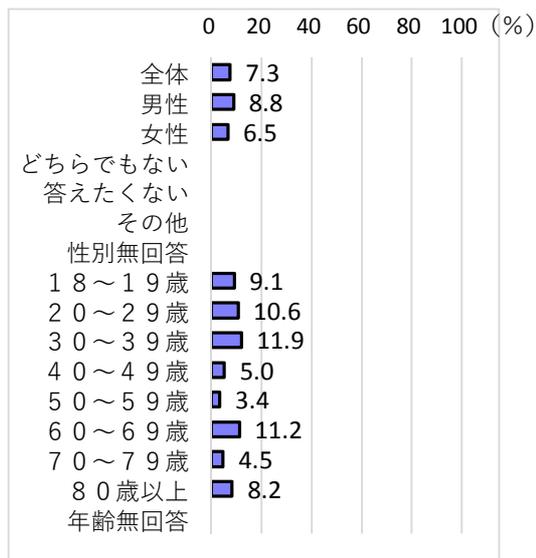
結婚問題で周囲の反対を受けること



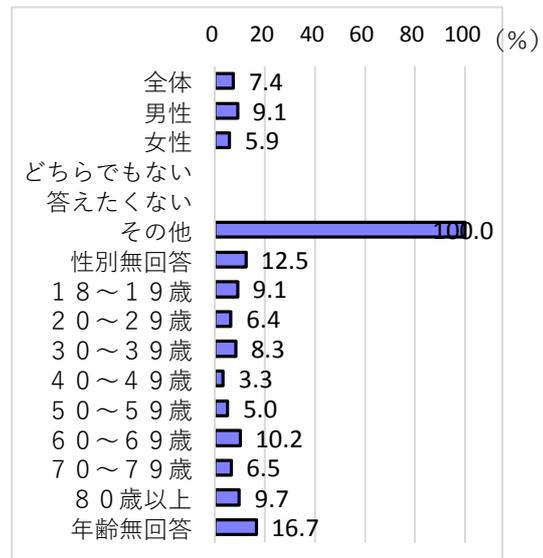
就職、職場で不利な扱いを受けること



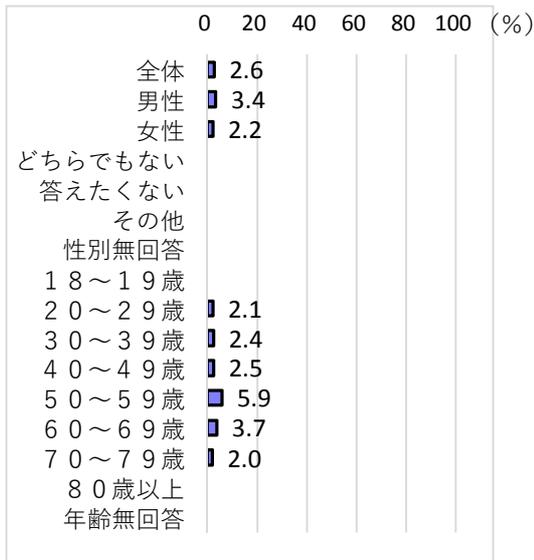
差別的な言動をされること



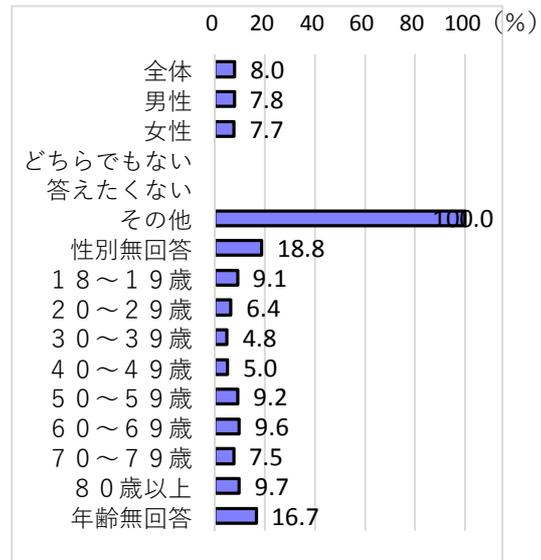
身元調査をされること



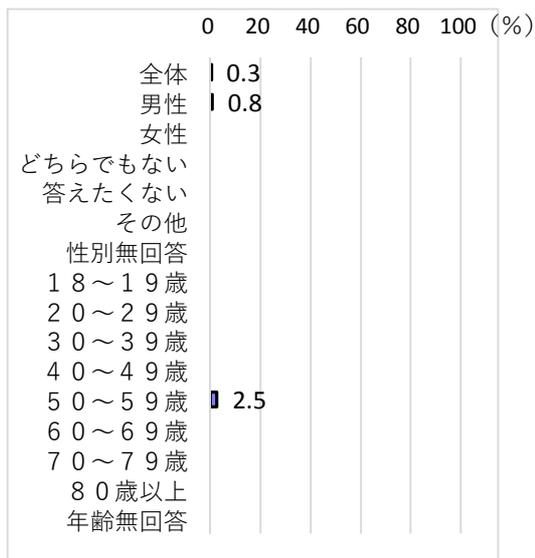
インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること



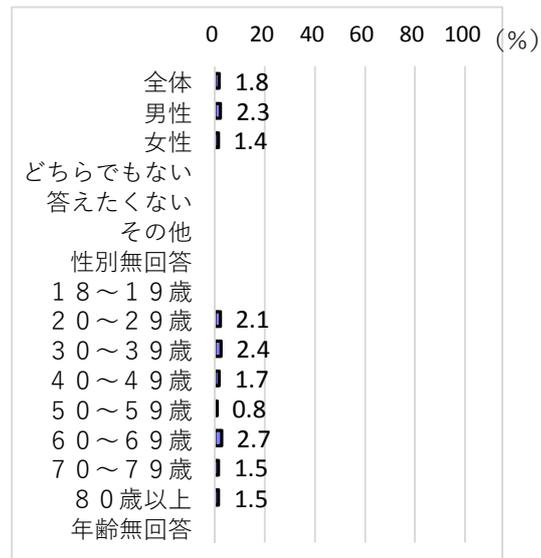
住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること



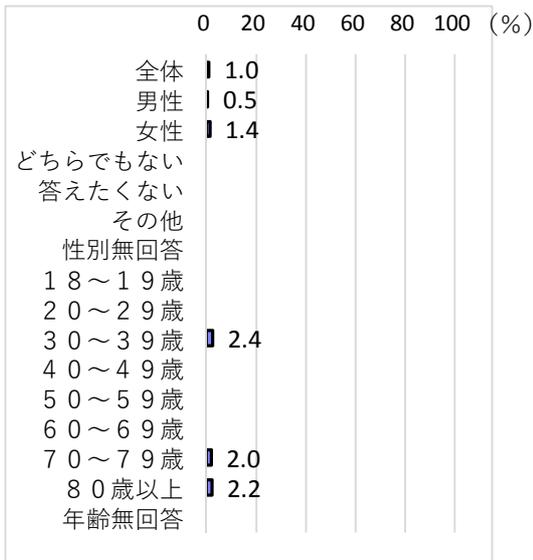
差別的な落書きをされること



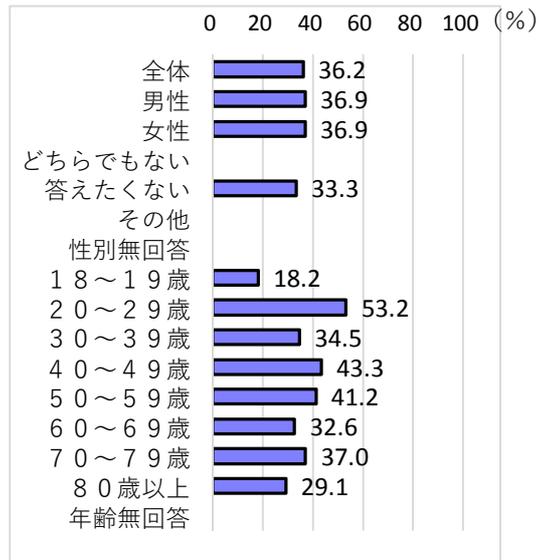
えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること



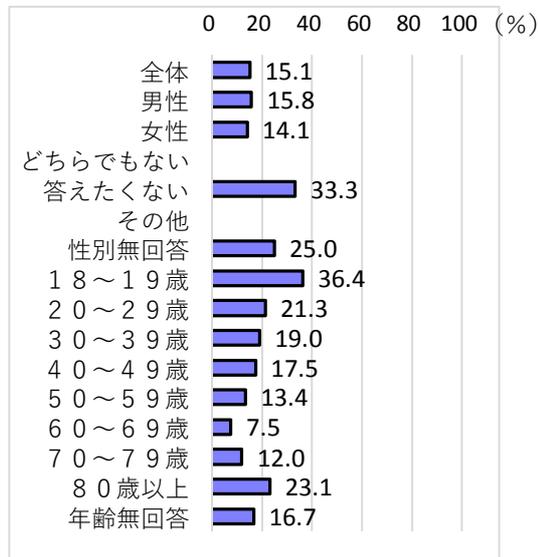
その他



特にない



わからない



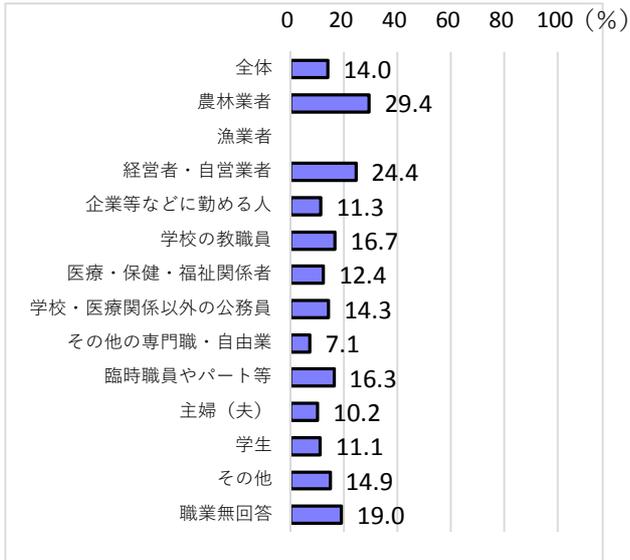
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

同和問題に関する人権問題の「見聞きした経験」について性別にみると、男女とも「結婚問題で周囲の反対を受けること」の回答割合が最も高くなっている。

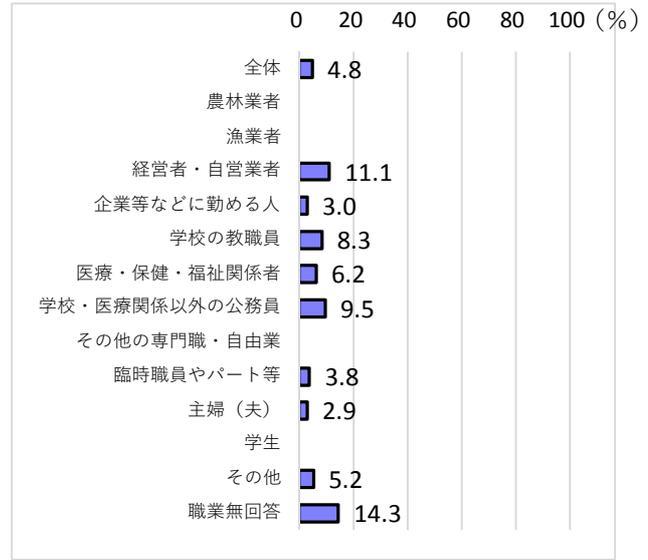
年齢別にみると、20歳～29歳以外では「結婚問題で周囲の反対を受けること」の回答割合が最も高く、20歳～29歳では「差別的な言動をされること」(10.6%)の回答割合が最も高くなっている。

図15-2-3 同和問題に関する人権問題を見聞きした経験（職業別）

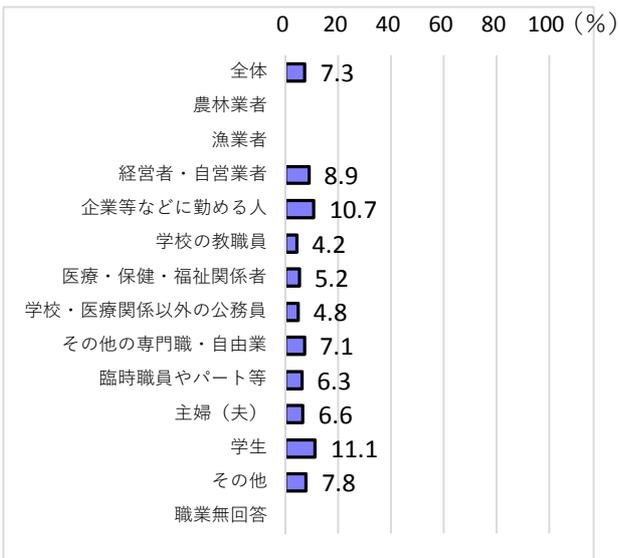
結婚問題で周囲の反対を受けること



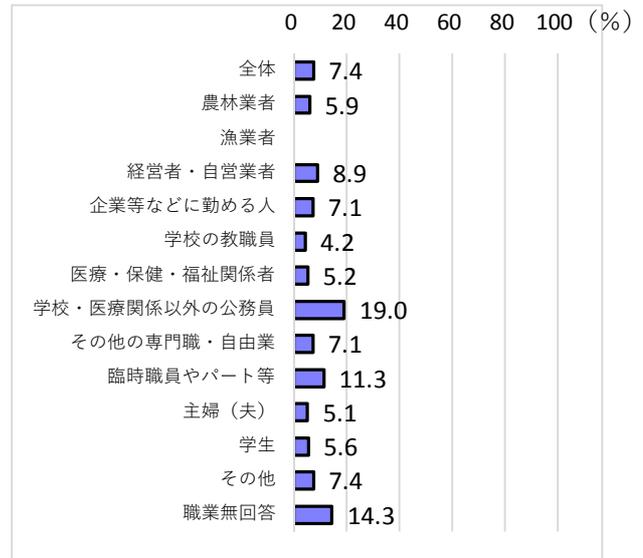
就職、職場で不利な扱いを受けること



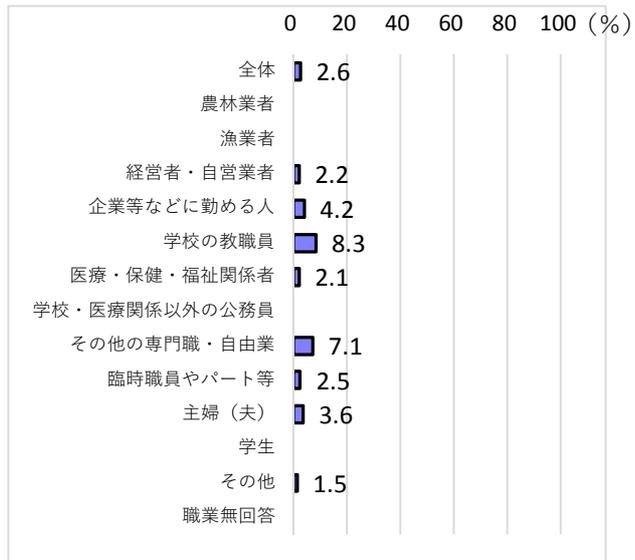
差別的な言動をされること



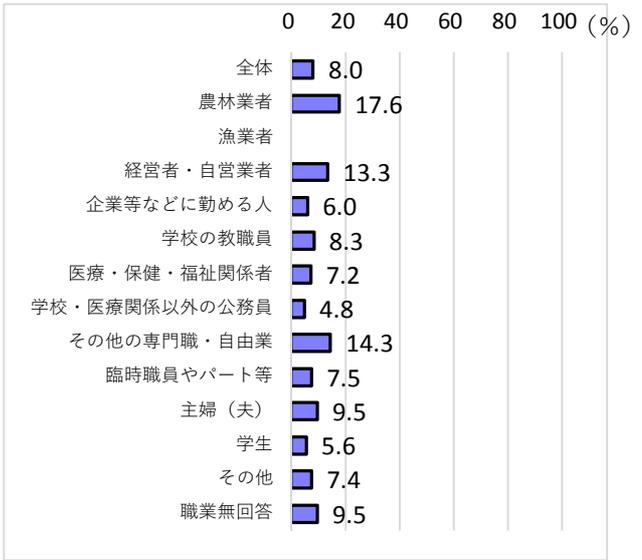
身元調査をされること



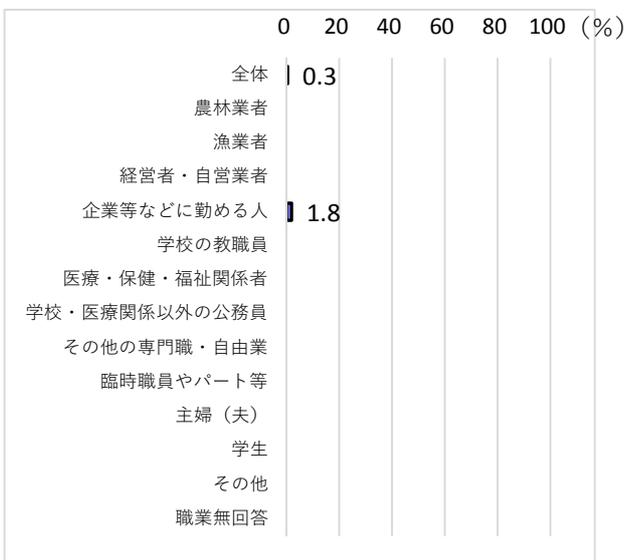
インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること



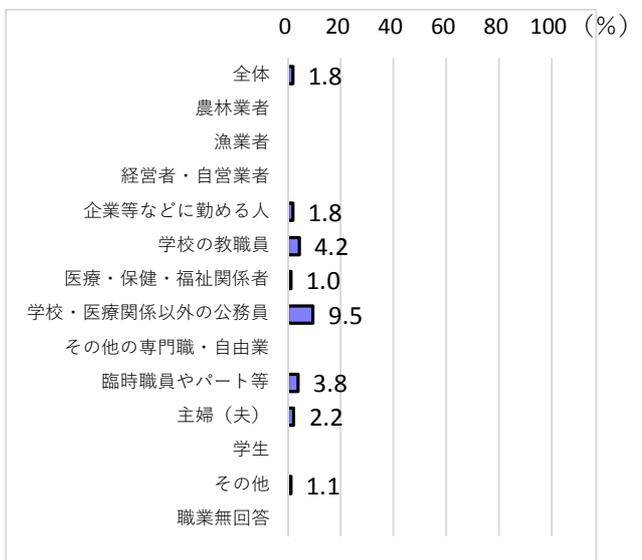
住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること



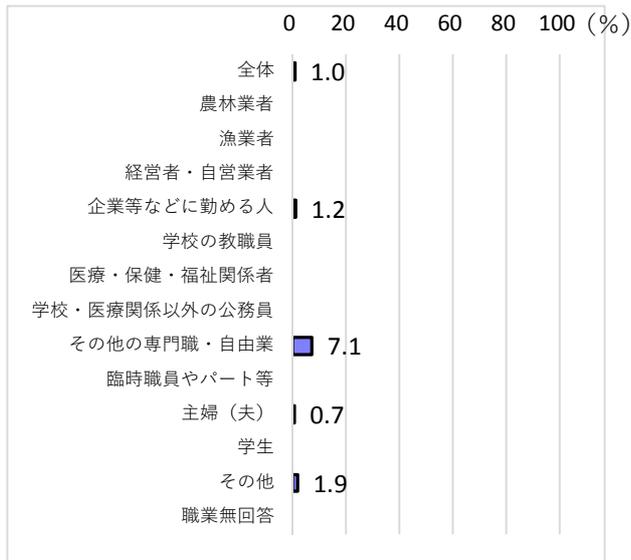
差別的な落書きをされること



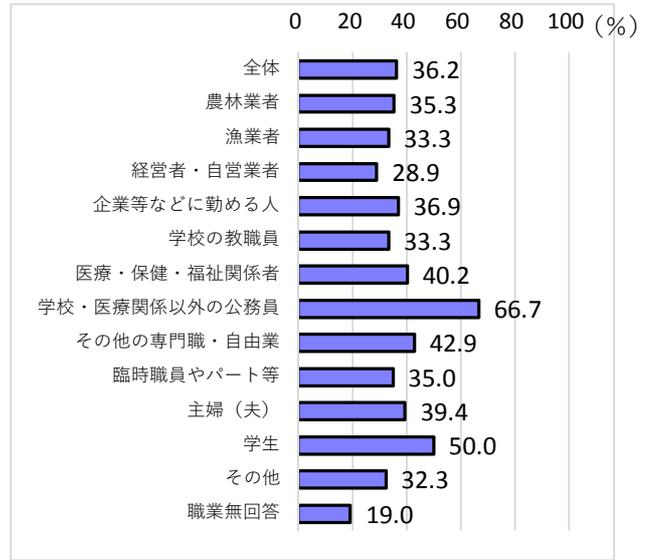
えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること



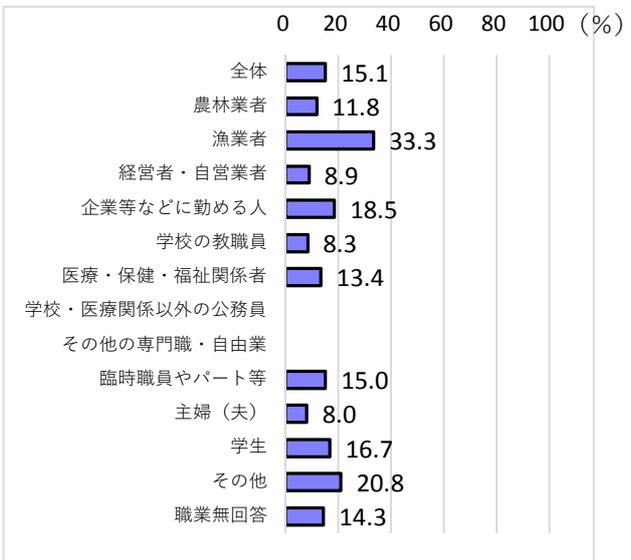
その他



特にない



わからない



全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

同和問題に関する人権問題の「見聞きした経験」について職業別にみると、大半の職業において「結婚問題で周囲の反対を受けること」の回答割合が最も高くなっており、農林業者は29.4%となっている。また、学校・医療関係以外の公務員では「身元調査をされること」(19.0%)、その他の専門職・自由業では「住宅を購入したり、引っ越しをする場合に、そこが同和地区かどうか調べたり、避けたりすること」(14.3%)の回答割合が最も高くなっている。